

気象予測データを基にした農作物被害軽減 情報ウェブシステム (寒締め菜っ葉情報)

《1. 冬の野菜栽培の支援》

東北農業研究センターでは、インターネットを用いて寒締めホウレンソウの生育予測情報を提供するシステムを開発し、この冬から運用を始めました。本システムは、1kmのメッシュに展開された東北地方の7日先までの気象（気温）予測データ、そのデータに基づいた寒締めホウレンソウの生体重予測が東北6県分のマップで表示されます。また、予測日前5日間の平均地温から推定した糖度予測情報（東北全域の糖度マップ）も随時掲載しています。これらのシステムは、気温に基づいた寒締めホウレンソウの計画的な出荷に役立ちます。

《2. 提供している情報》

主な提供情報は、1 kmメッシュ情報として展開された気温データ、気象予測データを用いた寒締めホウレンソウ生育予測情報、そして、寒締めホウレンソウの糖度予測情報です。

1) 播種日と生体重予測日を旬別に選択すると、生体重予測マップを表示できます。図1は、10月上旬播種した場合の1月上旬の予測生体重マップを示しています。なお、生体重予測マップは、パイプハウスの側窓を開放して生育した場合であり、側窓を閉じた場合は、これよりも生育が進みますのでご注意ください。

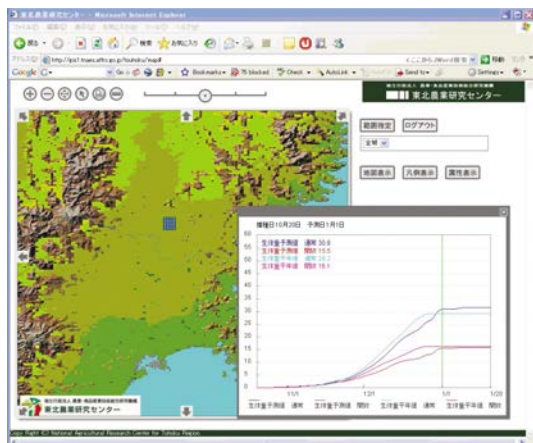


図2：生育予測グラフ表示

2) 1kmメッシュごとに生育予測のグラフを表示できます（図2）。平年値での生体重予測グラフとともに、気温実測値と予測値に基づいた生体重予測グラフが、側窓を開放した場合と通常（側窓を閉じた場合）の、合計4通りで表示されます。これらにより、平年よりも生育が進んでいるのか、遅れているのかを把握でき、また、一週間分の気象予測データを基にした生育予測グラフも見ることができます。

3) 寒締めホウレンソウ糖度予測情報は、外気温(メッシュ気温)から推定した開放ハウスの地温をもとに、予測日前5日間の平均地温から推定した糖度（Brix）を、東北

やませ気象変動研究チーム

菅野洋光

Kanno, Hiromitsu



全域のマップに色分けして表示します（図3）。この糖度予測マップは、手動作業により随時掲載しており、ウェブのメニュー画面上から閲覧することができます。

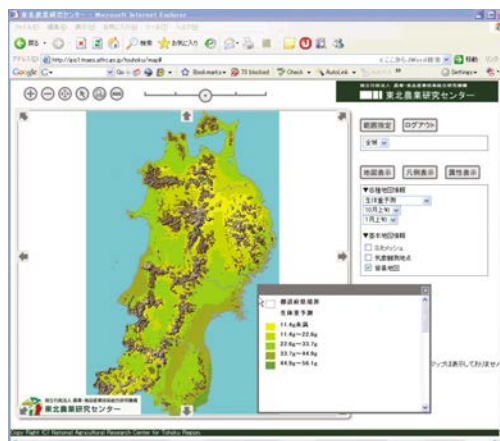


図1：10月上旬播種した場合の1月上旬の予測生体重マップ
注：選択地点における生体重（重量g）の予測値と平年値について、開放（ハウスの側窓を開放した場合）と通常（開放しない場合）についてグラフ表示する。

《3. システムの利用方法》

ウェブシステムのURLは、<http://tohoku.dc.affrc.go.jp/yamase.html>です。この画面において、「寒締め菜っ葉情報」アイコンをクリックすると、寒締めホウレンソウ生育情報サイトへリンクします。サイトへは、ユーザーIDおよびパスワードを入力することでログインすることができます。ユーザーIDとパスワードは、本サイトからメールにより申請していただければ、すぐに配布します。どなたでも無料で利用できます。

なお、本ウェブサイトの「水稻情報」アイコンは、水稻生育予測関連情報サイトへリンクしており、2007年は4月～9月まで水稻関連の情報を発信しました。2008年も4月から情報の発信を再開しますので、こちらをご利用ください。



図3：予測日前5日間の平均地温から推定した糖度（Brix）マップ